

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和6年 1月 31日

公表:2024年1月31日

事業所名 **子どもの広場桑名**

		チェック項目	はい	いいえ	わからない (未回答)	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	0	0	・用途に応じて部屋を使い分けている。 ・粗大運動を十分にできるようにさらに空間の使い方を工夫出来たらと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	12	0	1	・職員数が増えるとより手厚い支援につながると思う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	3	0	・段差あり ・賞賛である為難しい部分がある。 ・階段が急である為、職員がついて事故防止に努めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	0	・毎日、掃除消毒をしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	2	0	・朝礼や会議などで周知し、話し合われている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	1	0	・口頭やLINE等で保護者より伝えられた話や情報は職員間で周知するようにしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	2	0	・定期的にアンケート実施している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	3	0	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	2	0	・入社時研修がない為、あれば良いと思う。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	2	0	・個別療育、放デイ預かり部門など各部門と話し合いをしながら計画作成を進めている。 ・保護者からニーズを受け取り、計画を立てている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	1	0	・保護者の方から結果を共有していただき支援に役立っている。事業所内でも標準化されたツールを使用できるようになりたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	1	1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	・計画に沿った療育を展開している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	2	1	・小集団についてはチームで行っている。 ・小集団療育など、チームで話し合われている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	0	1	・新しい小集団プログラムを考案している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12	1	0	・個別療育の他にことだま講座やあかちゃん体操、すてっぷ教室などがあり適宜計画に組み込む。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1	0	・朝礼を必ず行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	4	0	・原則夕礼及び終礼はない為、朝礼にて必要な打ち合わせを行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	0	0	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	0	1	・モニタリングの内容を職員間で共有し、意見交換を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	わからない (未回答)	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	1	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12	1	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	2	2	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	4	2	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	4	1	・必要に応じてサービス担当者会議を開いている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	3	1	・必要に応じて報連相を行っている。 ・必要に応じてサービス担当者会議を開いている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	3	0	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	9	0	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	7	0	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	1	0	・送迎時に保護者と会う際、当日の様子を伝える。 ・保護者と相互で日頃の様子を伝え合っている。またその際に保護者から見聞きしたことは職員間でも共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11	2	0	・必要に応じて行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	2	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11	2	0	・個別支援計画が作成された際には必ず保護者に説明し、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	0	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	9	0	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	0	・保護者からの相談や申し入れで自分では答えられない時には上長へ報告、相談をして引き継ぐようにしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	4	0	・インスタやLINEで発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12	1	0	・個人情報に記載されている書類は必ず書庫で保管するようにしている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	1	0	・資格支援、カードなど様々な道具を用いて支援を行う中でその意図を伝えている。 ・わかりやすい言葉、伝わるような表現を心掛けている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	7	1	・今後行っていきたい

		チェック項目	はい	いいえ	わからない (未回答)	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	3	0	・緊急時対応マニュアルをカードサイズに印刷。持ち歩けるようにしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	3	0	・職員だけでなく、預かりの利用者に参加してもらっている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	11	2	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	3	1	・必要に応じてサービス担当者会議を開いている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	2	0	・ヒヤリハット報告のあった際には記録作成と職員間での共有もしている。 ・報告書はファイリングされ、いつでも確認できるようにされている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	2	0	・ビデオ研修を行い、職員間で話し合いを行った。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	3	2	・身体拘束防止についてビデオ研修を行い、職員間でイメージの共有化を図った。今後現場へのアウトプットを行う予定。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。